

平成19年
第3回定例会

庁舎建設基金に9億円が追加されました
平成18年度決算剰余金からの積み立てにより、3年間凍結中の庁舎建設事業が一步前進

平成19年第3回（9月）定例会では、市長から提案された議案25件、議員提出議案1件、議長発議1件の計27件が上程されました。

定例会初日には23議案が上程され、そのうち諮問3件と同意案2件を審議し、それぞれ可決しました。

また、庁舎建設基金に新たに9億円を積み立てるなど、予算の補正を行う「平成19年度東広島市一般会計補正予算（第2号）」などの17議案と議員提出議案を所管の常任委員会に付託し、各常任委員会での審査を行いました。

定例会最終日には、各常任委員会に付託された案件について、各委員長の報告、討論、採決を行いました。その結果、議員提出議案については否決し、その他の議案については、提案どおり可決しました。

また、市長から議案1件が追加提案され、所管の建設委員会に付託しました。その後、同委員会の審査を経て、本会議において委員長の報告、討論、採決を行い、提案どおり可決しました。議長発議1件についても提案どおり可決しました。

同じく最終日に上程された平成18年度の決算2件については、これら

の審査を行うために、12名の委員で構成する平成18年度決算特別委員会

を設置し、閉会中の継続審査とすることをしました。

■第3回定例会の日程

9月10日（1日目）	開会 会期の決定 議案説明 諮問採決【適任可決】、同意案採決【同意可決】、 議案・議員提出議案付託（常任委員会）
9月12日（2日目）	一般質問
9月13日（3日目）	〃
9月14日（4日目）	〃
9月18日（5日目）	〃
9月19日	付託議案・議員提出議案の常任委員会審査
9月20日	〃
9月21日	〃
9月25日	〃
9月26日（6日目）	常任委員長報告—議案採決【原案可決】、議員提出議案採決【否決】 追加議案説明 議案付託（建設委員会） 付託議案の常任委員会審査 常任委員長報告—議案採決【原案可決】 追加議案説明、平成18年度決算特別委員会設置・委員の選任・議案付託【閉会中の継続審査】 議長発議採決【原案可決】 閉会

■第3回定例会で可決した案件

● 条例案等	14件
● 予算案	4件
● 諮問	3件
● 同意案	2件
● 議長発議	1件

常任委員会に

付託して可決した案件

【総務委員会付託案件】

● 郵政民営化法等の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律の施行に伴う関係条例の整理

「郵政民営化法等の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」等の施行に伴い、郵便貯金と日本郵政公社の廃止その他所要の規定の整備に係る関係条例の整理を行うもの。

●市税条例の一部改正
 地方税法等の一部改正に伴い、市民税について新たな法人税制への対応を図るもの。

●手数料条例の一部改正
 県から移譲される事務の実施に關し、新たに徴収する手数料を定めるとともに、租税特別措置法と温泉法の一部改正に伴い、条例において引用しているそれぞれの法の条項を整理するもの。

●火災予防条例の一部改正
 建築基準法施行令の一部改正に伴い、条例において引用している同施行令の条項を整理するもの。

〔文教厚生委員会付託案件〕

●使用料条例の一部改正
 学校施設の利用の公平を確保するため、屋内運動場、校庭など学校施設の使用料の算定基準を統一し、当該施設の使用料の改定を行うもの。

●市立幼稚園保育料等徴収条例の一部改正
 国の示す公立幼稚園の保育料の額の改定に合わせて、市立幼稚園の保育料の月額を、現行の6100円から6300円に引き上げるもの。

〔反対討論〕
 市民の所得が年々減少する中、保育料を引き上げるべきではない。

●平成19年度一般会計補正予算（第2号）を可決しました

（総務委員会付託）

補正額 21億5,682万円増

補正後の総額 674億2,102万6千円

（主な補正内容）

・ 総務費（財産管理事務、新庁舎建設事業の増など）	21億3,588万6千円増
・ 民生費（介護保険特別会計繰出金の減など）	512万3千円減
・ 衛生費（専用水道運営事業の増など）	2,174万7千円増
・ 農林水産業費（防衛施設周辺整備事業の減など）	3,823万9千円減
・ 土木費（計画調査一般事業の増）	800万円 増

●平成19年度特別会計補正予算を可決しました

会計名（補正回数）		補正額	補正後の総額	付託委員会
国民健康保険 (1)	事業勘定	3億8,517万1千円増	147億7,091万3千円	文教厚生委員会
介護保険（1）	保険事業勘定	2億8,117万3千円増	98億4,595万3千円	文教厚生委員会
	介護サービス事業勘定	122万9千円増	5億5,765万7千円	

●平成19年度水道事業会計補正予算（第1号）を可決しました（建設委員会付託）

区分		補正額	補正後の総額
収益的収入及び支出	収入	1,774万7千円増	43億5,507万6千円
	支出	1,674万3千円増	44億1,860万6千円

【建設委員会付託案件】

●市道の路線の廃止

一般国道375号の改良等に伴い、路線の起点と終点を変更する必要が生じた下見御菌宇線など10路線を廃止するもの。

●市道の路線の認定

新設道路や、一般国道375号の改良等に伴い起点と終点を変更した下見御菌宇線など12路線を一般交通の用に供するため、市道として認定するもの。

●市営住宅設置及び管理条例の一部改正

特定公共賃貸住宅に入居している障害者世帯、高齢者世帯、子育て世帯等を対象とした家賃の減額措置を設けるもの。



特定公共賃貸住宅（市営岩谷第2住宅）

●駐車場条例の一部改正
福富駐車場を廃止するもの。

●地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正

東広島都市計画御菌宇新町地区・地区計画の区域内において、建築物の用途の制限など建築制限を定めるもの。

議員提出議案 を否決しました

●地方財政の充実・強化を求める意見書の提出

《総務委員会付託》

国対地方の税収割合5対5の現に向け、さらなる税源移譲と国庫補助負担金の改革を進め、地方税の充実強化など、税財政制度の改革を進めること、国が法令に基づく事業実施を自治体に義務づけ、自治体間の財政力格差が大きい現状においては、地方交付税制度の財源保障と財政調整の機能を堅持し、自治体の安定的な財政運営に必要な一般財源の総額を確保すること、地方の頑張りにより反映される制度改革に取り組みこまえた対処を行うことを要望する意見書を政府に提出するもの。

《賛成討論》

地方分権においては、権限移譲に応じた税財源の移譲が行われる

●都市計画法に基づく開発行為等の許可の基準に関する条例の一部改正

都市計画法の一部改正に伴い、条例で引用している同法の条項の整理を行うもの。

ことが重要であり、地方の裁量で、地方の特性に応じたまちづくりを行うことができる財源の移譲を進めるよう、国に訴えるべきである。

平成15年のデータでは国と地方の税収割合が3対2であるのに対し、歳出は2対3で逆転している。せめて税収割合を5対5にすべきである。

よりよいまちづくりをするために、現状を踏まえた問題点について国に思いを伝えるべきである。

《反対討論》

趣旨は理解するが、国は、地方公共団体が自主的な判断で行政を行うことができるよう改革を進めており、税源移譲も間もなく実現するところまで来ている中、国の改革を全面否定するような内容の意見書を提出すべきではない。相手を納得させることのできる内容となっていない。

●水洗便所改造資金貸付条例の一部改正

水洗便所改造資金の貸し付けを受けることができる対象区域等を拡充するとともに、対象工事の整理を行うもの。

●土地開発公社定款の変更

「郵政民営化法等の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」が施行され、「公有地の拡大の推進に関する法律」が一部改正されることに伴い、土地開発公社定款において余裕金の運用に係る所要の規定の整備を行うもの。

委員会への付託を省略して 可決した案件

●人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること

東広島市高屋町高屋堀2389番地2 榎山 伸男

東広島市高屋町宮領536番地 坂田 綾子

東広島市福富町上戸野2054番地2 小林 秀和

●固定資産評価審査委員会委員の選任の同意

東広島市志和町志和東83番地 水木 正英

東広島市西条西本町28番1-602号 藤田恵美子

閉会中の

継続審査となった案件

【平成18年度決算特別委員会付託案件】

- 平成18年度歳入歳出決算の認定
- 平成18年度水道事業会計決算の認定

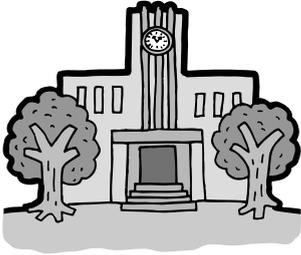
これらの案件については、平成18年度決算特別委員会を設置し、閉会中に継続して審査を行うことにしました。

特別委員会には、次の委員が選任されました。

平成18年度

決算特別委員会委員

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 中平 好昭 |
| 副委員長 | 乗越 耕司 |
| 委員 | 西本 博之 |
| | 加根 佳基 |
| | 宮川 誠子 |
| | 大江 弘康 |
| | 竹川 秀明 |
| | 池田 隆興 |
| | 高見 利明 |
| | 小川 宏子 |
| | 石原 賢治 |
| | 赤木 達男 |



議長発議を可決しました

●議員派遣

議会会報委員会行政視察、市町村議会議員特別セミナーにそれぞれ議員を派遣するもの。

平成19年第2回臨時会が開かれました

開かれました

平成19年8月17日に開かれた平成19年第2回臨時会では、市長から提案された2件の議案、「請負契約の締結について」について、所管の建設委員会に付託し、委員会での審査を経て、同日、委員長の報告、討論、採決を行いました。その結果、すべて提案どおり可決しました。

【建設委員会付託案件】

●請負契約の締結

八本松中学校校舎耐震補強・大規模改造工事（建築）の請負契約を締結するもの。

契約金額 2億8350万円
契約の相手方 株式会社増岡組東広島営業所

●請負契約の締結

上条浜田線橋りよう建設工事（2工区）の請負契約を締結するもの。

契約金額 2億8140万円
契約の相手方 極東工業株式会社広島支店

第2回臨時会で可決した案件

- 請負契約…… 2件

第2回臨時会の日程（8月17日）

開会、会期の決定、議案説明、議案付託（建設委員会）、付託議案の常任委員会審査、常任委員長報告—議案採決【原案可決】、閉会



行政視察報告

総務委員会

●日時／8月7日～8月9日

●視察地／東京都港区・さいたま市・小田原市
東京都港区では、市民からの電話による定型的な問い合わせに対応する「コールセンター」の運営について、さいたま市見沼区では、引越・結婚・出生・死亡等の際の手続きを1つの窓口で申請し、まとめて交付を受けることができるワンストップサービス「窓口申請パッケージ事業」について、小田原市では、多様化する市民ニーズに対応できる電子自治体を実現するための「情報化施策」について、及び、約1億円を市民アンケートの結果に基づき配分する「市民の選択による予算配分」についての行政視察を行った。
これら視察した事業を参考として、本市の今後の施策に生かしていきたい。



総務委員会行政視察（さいたま市）

文教厚生委員会

●日時／8月7日～8月9日

●視察地／山形市・高崎市・府中市
山形県山形市では、教育・文化・情報・科学の拠点施設として児童・生徒の学習、教職員の教育活動支援等を行う山形市総合学習センターにおいて、「情報教育、教育相談、理科教育等の取り組み」について、群馬県高崎市では、創作活動の発表の場の提供や美術活動の推進・発展の役割を担っているシティギャラリーや美術館など「芸術文化活動」について、東京都府中市では、「子育て総合相談や親子の自由な交流の場の提供などを行い、児童虐待防止の拠点施設でもある府中市子ども家庭支援センター「たっち」において、「子育て支援」についての行政視察を行った。今回視察を行った事業を参考として、本市における今後の施策に生かしていきたい。



文教厚生委員会行政視察（山形市）

市民経済委員会

●日時／8月20日～8月22日



市民経済委員会行政視察（新発田市）

●視察地／酒田市・新発田市・新潟市

山形県酒田市では、米の集積場として明治時代に建設され、観光客が多く集まる山居倉庫の一部を利用した「酒田観光物産館『酒田夢の倶楽部』」の整備について、新潟県新発田市では、豊かな自然や観光資源を活用した観光産業の振興を目的に、観光客をもてなす心を基本として計画当初から市民が積極的に参加して策定した「観光振興基本計画」について、新潟県新潟市では、現在稼働中の清掃センターの老朽化に伴って、焼却灰の減量、経済性、環境負荷の低減を主な方針として公設民営方式で整備している「新焼却場施設」についての行政視察を行った。これらの視察を行った事業を参考として、本市の今後のまちづくりを生かしていきたい。

建設委員会

●日時／8月20日～8月22日

●視察地／八潮市・三島市・藤枝市
埼玉県八潮市では、つくばエクスプレス建設と同時に、都市再生機構と県、市で沿線の地域開発を行う「つくばエクスプレス沿線整備」と、市民や事業者と連携し、統一感のある景観を目指す「50年、100年先を見据えた景観まちづくり」について、静岡県三島市では、中心市街地の自然・歴史資源を活用し回遊ルートを整備した「街中がせせらぎ事業」について、静岡県藤枝市では、バリアフリー化、ユニバーサルデザインに配慮し整備されたJR藤枝駅、南北自由通路、駅前広場について行政視察を行った。



建設委員会行政視察（三島市）

これらの事業を参考として、本市のまちづくりに反映していけるように努力していきたい。

議会会報委員会

●日時／10月23日～10月24日



議会会報委員会行政視察（豊田市）

●視察地／甲賀市・豊田市

滋賀県甲賀市、愛知県豊田市で、議会だよりと議会ホームページについての行政視察を行った。両市とも、議会だよりに各常任委員会での審査状況や活動内容を掲載されるなど、紙面の充実を図られており、豊田市では、紙面作成の民間委託等により、本会議開催の翌月15日に議会だよりを発行されている。また、議会ホームページ上で本会議の映像を生中継し、さらに録画映像を配信されるなど、市民に身近な議会の実現、情報の速報性の向上に向け努力されている。これらの先進的な取り組みには参考となる点が多く、本市の今後のよじづくりにより、議会ホームページづくりにより生かしていきたい。